

## 火災調査員資格制度 火災調査アドバイザー認定講習を開催

静岡市消防局

当局では、昨年度より火災調査スペシャリスト育成のため、火災調査員資格制度を設け「火災調査アドバイザー認定講習」を行っています。今年度は30名の職員が、模擬鑑識を始め、現場技術、書類作成要領、分析方法等の講習を5日間受講します。分析方法講習では総務省消防庁消防研究センター尾川義雄氏を特別講師として招き、職員の火災調査技術及び知識の向上を図りました。受講者には、修了試験合格後、静岡市消防局長より「火災調査アドバイザー認定証」が交付されます。



## 市公共施設のAEDを24時間使用可能な環境へ

瀬戸市消防本部

瀬戸市消防本部では、万一、心肺停止の傷病者が発生した場合、その場に居合わせた市民がAEDを効果的に活用するため、7月1日から順次、市の公共施設78施設全てのAED（自動体外式除細動器）を屋外に設置する愛知県内初の取り組みを行い、24時間いつでも使用可能になる環境を市民へ提供します。



消防通信

望

楼

ぼうろう

## 「福岡市消防救急基金」を創設

福岡市消防局

福岡市消防局では、安全で安心して暮らせるまちづくりに資するために消防救急体制の充実に取り組んでいるところでありますが、このたび、「福岡市消防救急基金」を創設し、皆様からの寄付金をお受けすることといたしました。いただいた寄附金は、本市の消防救急活動に活用させていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、「福岡市消防救急基金」への寄付は、ふるさと納税の仕組みを利用しておりますので、寄付金は、所得税と個人住民税で控除を受けることができます。



福岡市消防救急基金

福岡市消防局  
マスコット  
キャラクター  
ファイ太くん



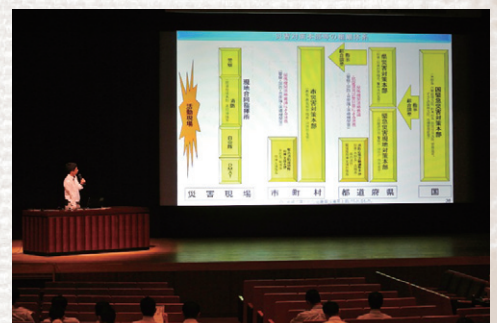
## 広域消防応援制度研修会を実施

弘前地区消防事務組合消防本部

平成27年7月30日（木）、31日（金）の2日間、消防庁広域応援室から職員を講師として迎え、緊急消防援助隊に関する研修会を実施しました。

緊急消防援助隊は、部隊新設、大幅増隊に加え、運用要綱等が改正されるなど、その環境は大きく変化しております。

そのような中、参加した県・県内消防本部・当本部等の職員約440名は、それぞれ課題等を持ちながら研修会に臨み、認識を共有するとともに本制度の理解を深めることができました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】